

VIPO 会員社 (五十音順)

● … 2019年度新規会員

2020年3月31日現在

株式会社秋田放送
アメリカン・モーション・ピクチャー・アソシエーション・オブ・ジャパン
● 伊藤忠商事株式会社
株式会社IMAGICA Lab.
株式会社イマジカデジタルスケープ
一般社団法人映画産業団体連合会
一般社団法人衛星放送協会
公益社団法人映像文化製作者連盟
エイベックス株式会社
株式会社ADKエムーションズ
株式会社エスピーオー
株式会社NHKエンタープライズ
NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社
大蔵映画株式会社
一般社団法人外国映画輸入配給協会
株式会社KADOKAWA
株式会社カプコン
株式会社キネマ旬報社
株式会社キノフィルムズ
ギャガ株式会社
キングレコード株式会社
株式会社クオラス
株式会社クリーク・アンド・リバー社
株式会社講談社
株式会社コーエーテクモゲームス
コダック合同会社
株式会社コナミデジタルエンタテインメント
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会
一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会
埼玉県 彩の国ビジュアルプラザ
株式会社SANKYO
株式会社サンライズ
株式会社サンリオ
松竹株式会社
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
セガサミー・ホールディングス株式会社
全国興行生活衛生同業組合連合会

一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟
株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
ソニーPCL株式会社
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
株式会社第一興商
高津装飾美術株式会社
有限会社ティーアイ・コムネット
株式会社TBSテレビ
株式会社ティーワイリミテッド
一般財団法人デジタルコンテンツ協会
株式会社デジタルSKIPステーション
株式会社手塚プロダクション
株式会社テレビ朝日
株式会社テレビ東京
株式会社電通
東映株式会社
東映アニメーション株式会社
東映ラボ・テック株式会社
東宝株式会社
学校法人東放学園 東放学園専門学校
東宝東和株式会社
株式会社東北新社
株式会社トーセ
株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ
株式会社ドリーミュージック
中日本興業株式会社
名古屋テレビ放送株式会社
日活株式会社
株式会社日経BP
日本アカデミー賞協会
日本アニメーション株式会社
協同組合日本映画製作者協会
一般社団法人日本映画製作者連盟
一般社団法人日本映画テレビ技術協会
一般社団法人日本映像ソフト協会
一般社団法人日本音楽製作者連盟
日本コロムビア株式会社

日本テレビ放送網株式会社
一般社団法人日本动画协会
一般社団法人日本民間放送連盟
一般社団法人日本ライセンシング・ビジネス協会
一般社団法人日本レコード协会
株式会社博報堂
株式会社バップ
びあ株式会社
● 株式会社5
株式会社フジテレビジョン
特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション
ブロードメディア株式会社
ホクエツ印刷株式会社
株式会社ポケモン
株式会社ボニー・キャニオン
株式会社ホリプロ
三菱電機株式会社
武蔵野興業株式会社
ユニバーサルミュージック合同会社
吉本興業ホールディングス株式会社
読賣テレビ放送株式会社
株式会社ラパン
リード エグジビション ジャパン株式会社
琉球放送株式会社
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
株式会社WOWOW

【賛助会員】
鹿島建設株式会社
株式会社きんでん東京本社
スカパーJSAT株式会社
株式会社住之江工芸(高松コンストラクショングループ)
ソニー株式会社
高砂熱学工業株式会社
トヨタ自動車株式会社
日本電信電話株式会社
株式会社みずほ銀行

合計109 社・団体(個人会員除く)



〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル 2F
TEL : 03-3543-7531 FAX : 03-3543-7533
URL : http://www.vipo.or.jp/

編集・発行 特定非営利活動法人映像産業振興機構
2020年6月26日発行



この紙は、適切に管理された森林の木材から作られました。
また、インクは一部に植物油を使用して揮発性有機化合物の発生を抑えた「VEGETABLE OIL INK」を使用し、有害廃液を排出しない「水なし印刷」を採用しています。



Annual Report 2019

年間活動報告書

2019.4.1-2020.3.31



Visual Industry Promotion Organization

特定非営利活動法人 映像産業振興機構



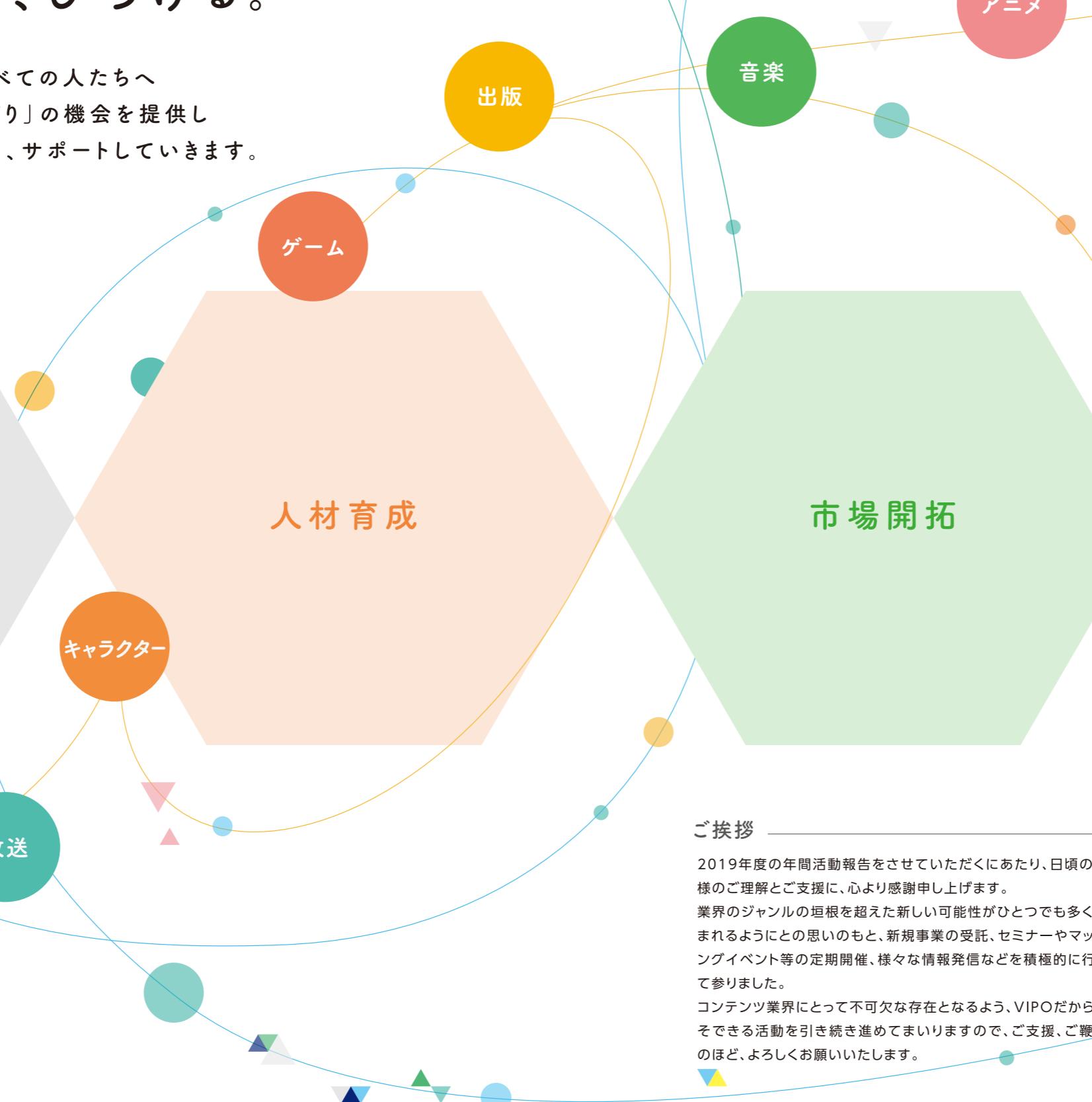
コンテンツの**未来**へ、 つなげる、ひろげる。

コンテンツ業界に関わるすべての人たちへ
VIPOは、「まなび」「つながり」の機会を提供し
ビジネスの輪がひろがるよう、サポートしていきます。

VIPOの 2つの事業テーマ

人材育成

市場開拓



VIPOは、日本のコンテンツ産業を国際競争力あるものとし、さらには日本経済の活性化に寄与することを目的に、2004年に設立された組織です。

「人材育成」と「市場開拓」を柱に、業界のジャンルを超えたネットワーキングや人材育成、国内外の市場開拓・整備等を行っています。

ご挨拶

2019年度の年間活動報告をさせていただくにあたり、日頃の皆様のご理解とご支援に、心より感謝申し上げます。

業界のジャンルの垣根を超えた新しい可能性がひとつでも多く生まれるようにとの思いのもと、新規事業の受託、セミナーやマッチングイベント等の定期開催、様々な情報発信などを積極的に行って参りました。

コンテンツ業界にとって不可欠な存在となるよう、VIPOだからこそできる活動を引き続き進めてまいりますので、ご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



理事長 松谷孝征



専務理事・事務局長 市井三衛

INDEX

P03-04 設立の経緯/組織図
VIPO事業マッピング

▶ 人材育成事業

P05-06 ndjc:若手映画作家育成プロジェクト

P07 映画スタッフ育成事業
AFI Conservatory
日本人留学生推薦事業

P08 京まふ2019
京都映画企画市
京都デジタルアミューズメントアワード

P09-11 VIPOアカデミー

P12-13 コンテンツ業界向けセミナー&ワークショップ

▶ 海外展開支援(市場開拓)

P14-15 コンテンツグローバル需要創出等促進事業費補助金

P16 コンテンツグローバル需要創出促進・基盤整備事業費補助金

P17-20 令和元年度新コンテンツ創造環境整備事業

P21-22 メディア芸術海外展開事業

P23 ジャパンアンバサダー [調査]

▶ 調査・情報サービス

P24 地域経済の振興等に資する外国映像作品口説き実証調査
フランスにおける映画振興に対する助成システム等に関する実態調査

P25 全国ロケーションデータベースの利用促進のための調査研究

P26 国際マッチングサイト「Japan Creator Bank」
VIPO Integrated Support System (VISS)

P27 Japan Content Catalog (JACC)
JAPACON

▶ アーカイブ

P28 アーカイブ中核拠点形成モデル事業

▶ 市場開拓

P28 東京都コンテンツ活用促進事業

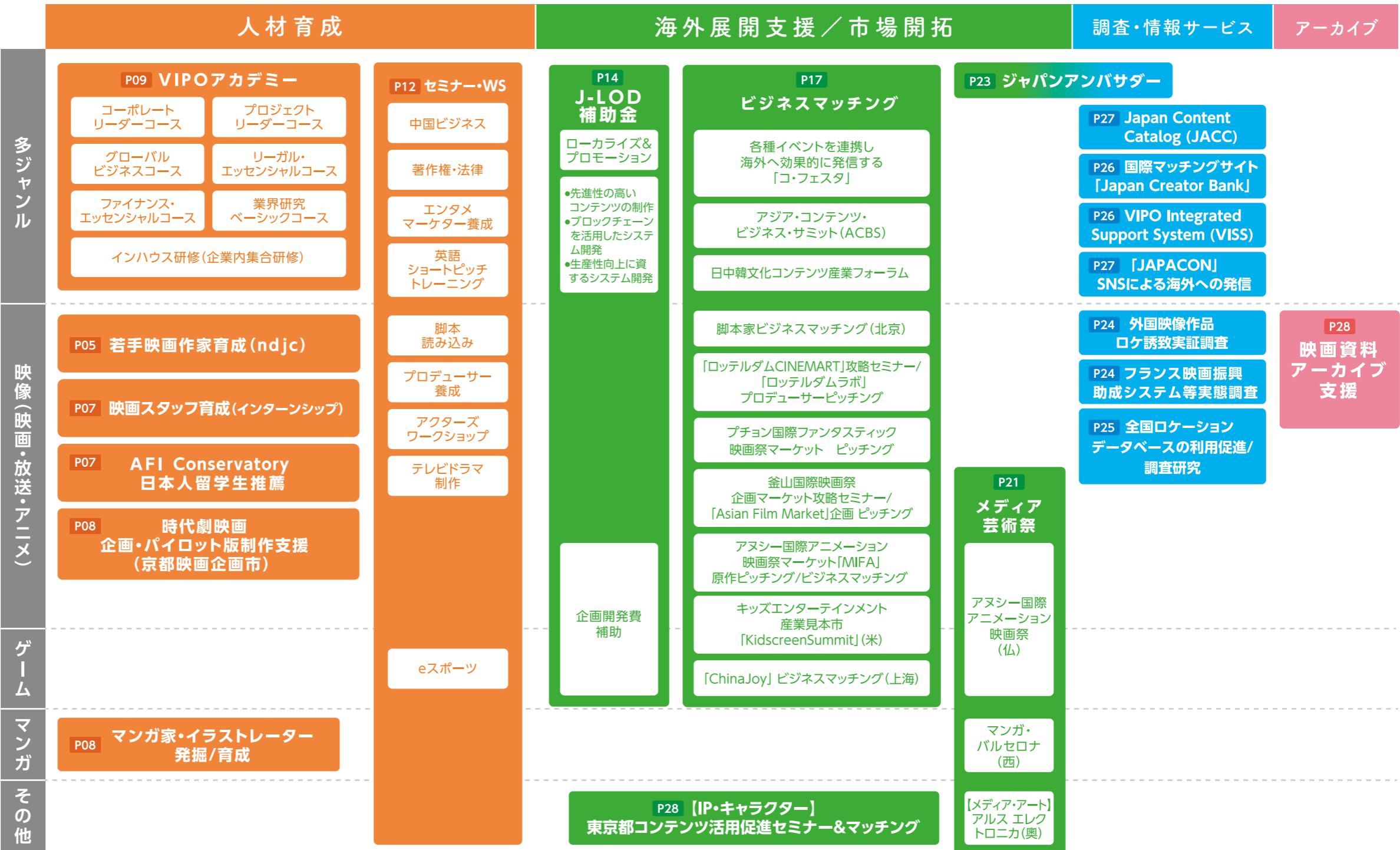
▶ その他

P29-30 2020年度新規事業
広報活動

設立の経緯

- 01 2004年3月の日本経済団体連合会の提言「『知的財産推進計画』の改訂に向けて」において、映像産業全般の振興を推進する機関の設置を提言。
- 02 政府「知的財産推進計画2004」(2004年5月27日・知的財産戦略本部決定)の中に、2004年度に「映像産業振興機関の設立」を支援することが明記。
- 03 6月より経団連エンターテインメント・コンテンツ産業部会(人材育成分科会)で検討を開始するとともに、日本映画製作連盟、日本民間放送連盟、日本動画協会等と連絡をとりつつ実務的検討を進める。また内閣官房知財推進本部、総務省、文部科学省、経済産業省、関係自治体とも調整。
- 04 11月、映像産業関連事業者を中心とする設立準備委員会を立ち上げ、同機構の事業内容等について詳細を固めた上で12月6日に設立総会を開催。
- 05 その後直ちに内閣府にNPO法人の申請を行い、2005年5月、認証。

VIPO事業マッピング



総会・理事会・幹事理事会 開催実績

総会
令和元年6月19日

幹事理事会
第45回幹事理事会 令和元年6月5日
第46回幹事理事会 令和元年11月26日

理事会
第45回理事会 令和元年6月5日
第46回理事会 令和元年6月19日
第47回理事会 令和元年11月26日

人材育成



ndJC
NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA

ndjc:若手映画作家 育成プロジェクト

文化庁 委託事業

次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目的として
文化庁よりVIPOが委託を受け実施しているプロジェクト

本事業発足から14年を経て、193名がプロジェクトに参加
その中から70名が製作実地研修に進み、短編映画を製作
ここから長編映画監督が続々と誕生！

文化庁の委託を受けて2006年度よりスタートした「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」。優れた若手映画作家を対象に、本格的な映像制作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するためのワークショップや製作実地研修を実施するとともに、作品発表の場を提供することで、次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目指しています。



主なプロジェクト出身監督の活躍(2019年度)

中野量太監督(ndjc2008)

『長いお別れ』(2019年5月31日公開)

配給:アスミック・エース 監督:中野量太 脚本:中野量太、大野敏哉 出演:蒼井 優、竹内結子、松原智恵子、山崎 努

ふくだももこ監督(ndjc2015)

『おいしい家族』(2019年9月20日公開) ※ndjc作品初の長編化!

配給:日活 監督・脚本:ふくだももこ
出演:松本穂香、浜野謙太／板尾創路

文 晟豪監督(ndjc2013)

『五億円のじんせい』(2019年7月20日公開)

配給:NEW CINEMA PROJECT 監督:文 晟豪
脚本:蛭田直美 出演:望月 歩、山田杏奈／平田 満、西田尚美

平林 勇監督(ndjc2007)

『SHELL and JOINT』(2020年3月27日公開)

配給:Giggly Box 監督:平林 勇
出演:堀部圭亮、筒井真理子

今後の主なプロジェクト出身監督の活動予定

吉野耕平監督(ndjc2014)

『水曜日が消えた』(2020年6月19日公開)

配給:日活 監督・脚本・VFX:吉野耕平
出演:中村倫也、石橋菜津美／きたろう

藤澤浩和監督(ndjc2011)

『レディ・トゥ・レディ』(2020年公開予定)

配給:トラヴィス 監督・脚本:藤澤浩和
出演:大塚千弘、内田 慈／木下ほうか

中野量太監督(ndjc2008)

『浅田家!』(2020年10月2日公開)

配給:東宝 監督:中野量太 脚本:中野量太、菅野友恵
出演:二宮和也、妻夫木聰

岨手由貴子監督(ndjc2009)

『あの子は貴族』(2021年公開予定)

ndjc2019 実施概要

4月 作家の公募

・映画関係団体等から推薦された作家の中から、ワークショップ参加作家を決定

6月



7月 ワークショップ

・同一の条件下で、共通のテーマに沿った完成尺5分以内の作品を制作

9月 製作実地研修

・35mmフィルム撮影による25分以上30分以内の短編映画を制作
(脚本開発～撮影～仕上げ～完成)



10月 合評上映会・講評会

・主要都市での映画関係者、一般モニター等を対象とした合評上映会
・講評会を実施し、作家へフィードバック
・東京、大阪、名古屋で一般向け劇場公開
・脚本指導講評会

ndjc2019 製作実地研修参加作家と完成作品

『あなたみたいになりたくない。』



監督 川崎 僚

[作家推薦団体]
シナリオ・センター
[制作プロダクション]
ダブ
[出演]
阿部純子、小島 聖、鳥谷宏之、吉倉あおい、
藤田真澄

『Le Cerveau - セルヴォ -』



監督 島田欣征

[作家推薦団体]
デジタルハリウッド大学
[制作プロダクション]
東映京都撮影所
[出演]
田中沙依、藤崎絢己、南 岐佐、八田浩司、
上瀧昇一郎

『魚座どうし』



監督 山中瑠子

[作家推薦団体]
PFF
[制作プロダクション]
オフィス・シロウズ
[出演]
根本真陽、外川 煉、山田キヌヲ、伊東沙保、
カトウシンスケ

2020年／カラー／ピクタサイズ／5.1ch／30分／©2020 VIPO

映画スタッフ育成事業

文化庁 委託事業



本事業は、映画スタッフを目指す学生に、実際の映画製作現場での実習を通して、現場での初步的な知識と技術を習得させることを目的とした人材育成事業です。学生／学校／制作プロダクションと連携して、学校の授業だけでは習得、体験することができない、プロの製作現場において必要とされる知識、技術、スタッフ間でのコミュニケーション能力等を身につけ、卒業後に映画の製作現場で活躍できるスタッフを持续的に育成することを目指しています。

2019年度は、映画学科や映像コース等がある大学／専門学校等を中心に学生の募集を行い、53名の学生が劇映画18作品の撮影現場にてインターン実習を経験しました。VIPOは2018年度から事務局運営を担当しています。

実習職種 演出／助監督、撮影、照明、録音、制作／制作進行、美術、編集、ポストプロダクション

2019年度実習後アンケートより

制作会社／学生の両者から満足度と有益度が高いとの評価を得ました。

制作会社 86.8%が実習生に映像制作の道に進んでほしいと考えており、92.5%が次の現場でもインターン実習を受入れたいと回答。

学 生 75.5%が将来、映像制作の道に進みたいと考え、75.5%が実習を同級生や後輩に勧めたいと回答。

実習生の声

- 現場で働く人たちと出会えたことは財産になった。
- 本を読んだり、座学で学ぶよりも多くのことを学べた。

学校関係者の声

- 共同作業の中で実際の制作がどのように行われているか学ぶことができた。
- 現場でのコミュニケーションや先を読む力など、教室では学べない経験ができたことは大きい。

製作現場の声

- プロの映画人は決して妥協せず、常に最上のものを wollen としている姿勢を学んだのだ。
- 作品のために役に立とうという意欲が素晴らしい。

AFI Conservatory
日本人留学生推薦事業

自主事業

AFIとは

米国の国家的な機関として、映像教育でのリーダーシップを発揮し、映画、テレビ、デジタル・メディアといった芸術分野において、その存在価値と卓越性が高く評価されています。AFIの教育機関であるAFI Conservatoryでは、撮影監督、監督、編集、プロデューサー、美術、脚本家のプロを育てるために制作実践、現場主義を基本とし、映画やテレビの世界からの実務プロフェッショナルで組織された指導者陣が教鞭をとっています。



将来の映像産業を担うプロフェッショナルの発掘と育成を目指すとともに、日本の映画企画や若手クリエイターが世界に出ていく仕組みを構築することを目的とし、AFI (American Film Institute) Conservatoryへ留学を希望する日本人の推薦活動を行っています。2019年度は2020年秋学期に志願を予定する日本人留学生を対象に、推薦学生を募集いたしました。

京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)2019

京都市 委託事業

海外PR 京都国際漫画賞2019 64カ国／地域からエントリー



マンガ部門:324作品、イラスト部門:903作品の応募
今年度はマンガだけでなく多様な才能を持つクリエイター発掘のため「イラスト部門」を創設。さらに、京都市在住／在学／在勤者を対象とした「京都賞」を含め、合計1,227作品の応募があり、その中から大賞作家と準大賞の作家を1名ずつ選定し表彰しました。マンガ部門大賞受賞者は台湾在住の銀甫(インフ)さん、準大賞受賞は中国在住の旗藍(キラン)さん、京都賞はJJhhen(ジェン)さんの3名が選ばれ、台湾の蔡英文総統からTwitterでも報告されました。またイラスト部門からの大賞受賞者は中国在住の徐静(シージン)さん、準大賞受賞は日本在住の原翠ユキ(ハラミユキ)さん、京都賞はハナヲさんの3名が選ばれました。受賞者は授賞式に参加するとともに、マンガ部門についても、京まふマンガ出張編集部に招待され各編集部への原稿の持ち込みをしました。

京都映画企画市

京都府 委託事業

映画企画コンテスト

開催日: 2019年11月4日(京都みなみ会館)
「日本で唯一、メジャースタジオで自分の作品企画を映像化できるコンテスト」を開催しました。映像製作作者を対象に、京都府内での撮影を想定した時代劇ジャンルの作品を募集し、新しい才能の企画実現の仕組みづくりを目的としています。コンテストでは、書類選考を通過した5企画の中からプレゼンテーションを行い、業界の一線で活躍する映画関係者が応募企画を評価。今回は『酢と油』(熊谷まだか監督)の1企画が選ばれました。受賞者には350万円相当のパイロット版映像制作の権利が付与され、東映株式会社 京都撮影所の協力のもと、太秦で撮影が行われました。

京都デジタル
アミューズメントアワード

新規事業

京都府 委託事業

京都から世界に発信する
関西最大級のマンガ・アニメイベント

京都市、および京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)実行委員会から「2019年度マンガ家志望者支援業務」を受託し、その一環として「京都国際漫画賞2019」の事務局運営を実施しました。本賞は、世界のマンガ家志望者が日本でプロデビューをするための機会創出を目的としています。

京都映画企画市

時代劇の拠点として京都の優位性を活かし、クリエイティブに関わる人材の活動支援を実施

優秀映画企画完成披露上映会

開催日: 2019年11月3日(京都府京都文化博物館フィルムシアター)
2018年優秀映画企画の完成披露上映に加え、2016年、2017年の優秀映画企画を上映。さらに、受賞者・制作者によるトークイベントを実施しました。

映画企画相談会

開催日: 2019年11月3日(京都府京都文化博物館)
プロの製作作者に企画作りのノウハウを学ぶことができる企画相談会を実施しました。

新規育成事業

大学のカリキュラムとして講師(映画関係者)による映画企画作成の講義を2019年10月に6回(1回90分)にわたり実施いたしました。

京都のあらゆる地域資源(産業、大学、文化、伝統、観光等)がソフトパワーとして活けるコンテンツ産業にフォーカスを当て、デジタルメディアの制作活動の奨励や、若手クリエイターを京都から世界へ発信することを目的としたアワードの専門審査運営業務を実施しました。



**ビジネススキルの習得だけでなく
ジャンルを超えて、ともに学んだ受講者によるネットワークは
新しいビジネスへのきっかけになっています**

VIPOアカデミーは2015年度にスタートしたコンテンツ業界のリーダー育成を目的とした人材育成事業で業界向けにカスタマイズしたプログラムを実施しています。経営幹部人材を育成する「コーポレートリーダーコース」と、現場のマネジメント力を強化する「プロジェクトリーダーコース」は、スキルアップや受講者同士のネットワーク構築に加え、企業間のコラボレーションのきっかけの場にな

りました。また、コンテンツ業界各ジャンルの基礎的な知識を横断的に習得できる「業界研究ベーシックコース」、グローバルで戦うビジネス力を磨く「グローバルビジネスコース」、法律や会計の知識を学ぶ「リーガル・エッセンシャルコース」「ファイナンス・エッセンシャルコース」など全6コースで2019年度は延べ38社116名の受講があり、これまでの累計は113社583名に達しました。



権限委譲について課題や悩みを持つ方を対象とした「リーダーシップ単発講座」を2月18日に開催しました。受講者から「演習によって自分の癖に気づき改善を意識できたので実践にとても役立つ」との感想をいただきました。



登壇者 宮河恭夫
株式会社バンダイナムコエンターテインメント 代表取締役社長



業界各社の経営層から受講者の上司、政府関係者まで、多くの方にお集まりいただき、受講をお招きし、キャリアやビジョン、成功体験や失敗談を伺いました。

2019年度開講内容

コーポレートリーダーコース (管理職向け)

講義と演習、グループ活動を通して、経営戦略、ファイナンス、ビジネスプランニング、プレゼンテーション、リーダーシップの知識やノウハウを身につけることで、企業の成長・発展に貢献するコーポレートリーダー(経営幹部人材)を育成します。

第10期 2019年5月11日～8月1日
第11期 2019年9月7日～11月28日

目的

- ▶ 経営者の視点を養い、経営幹部になるために必要とされる経営スキルを身につける
- ▶ コーポレートリーダーとして必要なスキルを習得し、リーダーシップを最大限に引き出す
- ▶ 他社のリーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

プロジェクトリーダーコース (中堅社員向け)

講義と演習、グループ活動を通して、企画力(ロジカルシンキング、ファイナンス、発想力)と推進力(プロジェクトマネジメント、リーダーシップ、プレゼンテーション)を強化することで、クオリティとスピードを両立させ、周囲を巻き込んでプロジェクトを成功に導くプロジェクトリーダーを育成します。

第8期 2019年5月18日～7月23日
第9期 2019年9月14日～11月26日

目的

- ▶ プロジェクトリーダーとして活躍するために必要なビジネススキルを身につける
- ▶ 他社の若手リーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

グローバルビジネスコース (仕事で英語を使う方、 海外とコミュニケーションを取る方向け)

実践を重視した講義(英語・日本語)と英語での演習を通して、英語でのビジネス力(コミュニケーション力、交渉力、プレゼンテーション力)を強化することで、グローバルシーンにおいて活躍できる人材を育成します。

※ 英語力想定レベル:中級(TOEIC 600～700点程度)

第7期 2019年6月14日～8月30日
第8期 2019年10月11日～12月20日

目的

- ▶ グローバルシーンで通用するコミュニケーション力、交渉力、プレゼンテーション力を身につける
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役立つネットワークを構築する

リーガル・エッセンシャルコース (コンテンツ関連の法務知識を習得したい方、 法務部門における経験が1年程度の方向け)

コンテンツ業界のビジネスパーソンとして必要不可欠な、著作権、ライセンス、契約などのリーガル知識を身につけることで、契約トラブルを未然に防ぎ、ビジネスを広げていける人材を育成します。

第7期 2019年9月24日～11月5日

目的

- ▶ コンテンツ業界の著作権、ライセンス、契約などのリーガル知識を身につける
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役立つネットワークを構築する

ファイナンス・エッセンシャルコース (コンテンツ関連のファイナンス知識を習得したい方、 経理財務部門の経験が1年程度の方向け)

コンテンツ業界のビジネスパーソンとして必要不可欠な、財務諸表、プロジェクト会計、予算管理などのファイナンス知識を身につけることで、会社やプロジェクトの数字を常に意識しながら業務を推進できる人材を育成します。

第7期 2019年10月3日～11月14日
第8期 2020年2月6日～3月19日

目的

- ▶ コンテンツ業界の財務諸表、プロジェクト会計、予算管理などのファイナンス知識を身につける
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役立つネットワークを構築する

業界研究ベーシックコース (コンテンツ業界の各ジャンルの基礎知識を 習得したい方向け)

コンテンツ業界の各ジャンル(映画・出版・音楽・テレビ・アニメ・ゲーム・キャラクター)とその展開エリアのマーケットやビジネスモデルを理解し、それぞれの成功パターンを学ぶことで、ジャンルを超えたコンテンツビジネスを生みだせる人材を育成します。

第7期 2019年12月11日～2020年3月11日

目的

- ▶ コンテンツ業界各ジャンルとその展開エリアのマーケットやビジネスモデルを理解する
- ▶ コンテンツ業界の成功パターンを学ぶ
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役立つネットワークを構築する

VIPOアカデミーをご利用いただいた企業の人事担当者様の声

株式会社IMAGICA GROUP 人材マネジメント部 浦 裕美様



当社はVIPOアカデミー開催初年度からご縁があり、コーポレートリーダーコースとグローバルビジネスコースに毎年参加させていただいている。研修ではメンバー同士のディスカッションはもちろん、講師に対しても積極的に意見をぶつけていて、そのやりとりがより深い理解を促進しているように感じます。多くの気づきを得ることができ、自分の行動に落とし込むという点がこの研修の一番の魅力ではないでしょうか。受講した社員からは、「課題が多く大変だったが参加してよかったです」、「ぜひ他の社員にも勧めたい」といった感想が多く、充実した講座内容が参加者の学びと満足度につながっていることを実感しています。

何より、業界のトレンドや世の中で何が起こっているのかをキャッチアップしつつ、他社の方々とのネットワークもできるのは、社員にとっても会社にとっても大きなメリットです。今後もぜひ継続して参加させていただきたいと考えています。

株式会社サンリオ 総務部人事課 中川恒之様



会社の特性上、社外の風土を感じることが少なく、社外にも視野を向けることが重要だと思っていた時でしたので導入いたしました。

今回、私自身がコーポレートリーダーコースを受講することで、業務課題に対して俯瞰で見ることが習慣化しました。それぞれの案件を部門視点ではなく事業視点で見ることができ、社内連携の重要性に気づき、業務進行もスムーズになりました。また、部下との面談でもコミュニケーションが円滑になり、部下自身のモチベーションが上がったことも成果の一つです。

内容や結果に対してとても満足しております。受講して2年経った今でも他社の受講生たちと良い関係が築けており、何度か新規の取り組みにもつながっております。同じ業界の同世代で切磋琢磨する研修は非常に有意義なものです。社内外問わず、お勧めしたいセミナーです。

公開コース以外に企業内集合研修（インハウス研修）を提供

2018年度より、公開コース以外に企業のニーズに合わせた企業内集合研修（インハウス研修）を実施しています。
2019年度は「リーダーシップ」、「ロジカルシンキング」、「（英語プログラム）ビジネスライティング」の研修を実施しました。

VIPOアカデミーの公式サイトでは、企業内集合研修や各コースに関する詳しい情報に加え、人材育成に役立つ情報等を発信しています。

「VIPOアカデミー」の公式サイトURL
<https://vipo-academy.jp/>

「VIPOアカデミー」の公式ツイッターも開設
https://twitter.com/VIPO_ACADEMY



コンテンツ業界向けセミナー＆ワークショップ

自主事業

コンテンツ業界向けに特化した人材育成をメインにセミナーやワークショップを開催

セミナー 福井健策弁護士 コンテンツ法律セミナー

コンテンツ業界関係者が一番知りたいことは何か？という視点で福井弁護士を講師に招き定期的に開催。

開催日 2019年4月17日(水)

前年度開催した第6弾「コンテンツ業界が知っておきたい『動画制作・ライブイベントに必須の音楽著作権講座』のステップ・アップ編」。動画／ライブイベント等に関連した最新事例を、より掘り下げて解説し、音楽著作権についてさらに幅広く学ぶ機会を提供しました。

開催日 2019年8月22日(木)

第7弾「いま知っておきたい、日本原作の海外ライセンス攻略法—対ハリウッド契約を中心に—」
日本における権利の国際的な流出の問題から日本人の法意識に言及。ハリウッドでの契約から映画化実現までの道のりとライセンス契約における交渉のポイントをわかりやすく解説しました。

開催日 2019年12月13日(金)

第8弾「いま知っておきたい、日本原作の海外ライセンス攻略法—対ハリウッド契約を中心に—」追加開催
講 師 福井健策氏(弁護士[日本・ニューヨーク州]／日本大学藝術学部・神戸大学大学院客員教授)



セミナー エンタメマーケター養成講座 Reiwa ver.01(全4回)

令和時代のデジタル×エンターテインメントの必要性や活用方法、今後マーケティングをするにあたり、どのようなことに注目していくべきかを解説。多様なコンテンツ業界の受講者からは3年連続で高い評価を得ました。

開催日 2019年6月10日(月)、17日(月)、24日(月)、7月1日(月)の全4回

メイン講師 鈴木貴歩氏(ParadeALL株式会社 代表取締役 エンターテック・アクセラレーター)

第1回 「エンタメマーケティング概論」(セミナー後、懇親会あり)

ゲスト講師:梶 望氏(株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ EPICレコードジャパン 部長)

第2回 「エンタメの海外・中国マーケティング」

ゲスト講師:藤田和重氏(アライドアーキテクツ株式会社 グローバル事業部プロデューサー)

第3回 「動画プラットフォームマネジメント 攻めと守り」

ゲスト講師:妹尾有高氏(Collab Japan株式会社 Head of Business Development)

第4回 「コンテンツマーケティング、ソーシャルメディア運用」

ゲスト講師:久保浩章氏(株式会社フラッグ 代表取締役)



ワークショップ アクターズワークショップ

将来の映像産業を担う俳優の発掘と育成を目指し、第一線で活躍する映画監督による俳優養成の1日集中講座を開催。講義や演技指導では一人一人に向けて懇切丁寧な指導と助言がありました。

第7弾 開催日:2019年8月6日(火)

講 師 前田 哲氏(映画監督『こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話』等)

第8弾 開催日:2020年3月24日(火)、25日(水)(2日間)※次年度に開催延期

講 師 吉川邦夫氏(NHKプロデューサー『真田丸』、『新選組!』等)



前田 哲氏

吉川邦夫氏

セミナー eスポーツセミナー 「eスポーツ×映像コンテンツ業界の共生と未来」

eスポーツの国内外の動向、市場規模、成長率、収益構造から、さまざまな問題点や課題を教育機関の見地から解説。セミナーでは、eスポーツを取り巻くさまざまな課題を克服するためには産学連携のプロジェクトが必要だと強調されました。

開催日 2019年8月9日(金)

講 師 馬場 章氏(滋慶学園COMグループ 東京アニメ・声優&eスポーツ専門学校名誉校長)



海外展開支援

セミナー 映画脚本読み込み講座 第3弾

映像業界でプロデュース、企画、演出、撮影に携わるスタッフや俳優を対象に、映画の設計図である脚本の基本的な知識、発想と構成の方法、人物設定、講師自身の脚本解説などから、実際の撮影業務に役立つ脚本を読み取る技術を徹底解説。

開催日 2019年10月24日(木)、25日(金)(2日間)

講 師 加藤正人氏(脚本家 日本シナリオ作家協会理事『雪に願うこと』、『クライマーズ・ハイ』、『廻待ち』等)



セミナー テレビドラマ制作セミナー

第一線で活躍する脚本家とテレビプロデューサーによるセミナー。映像コンテンツ業界を担うスタッフ、プロデューサーをはじめ幅広い業界からご参加いただきました。一般社団法人日本脚本アカデミズ推進コンソーシアム共催。

開催日 2019年11月6日(水)

テーマ 「ドラマファンを魅了する人間ドラマのつくり方」

講 師 脚本家 羽原大介氏『昭和元禄落語心中』等

NHKエンタープライズ プロデューサー 小林大児氏



羽原大介氏



尾崎将也氏



ワークショップ 海外見本市で役立つ英語ショートピッチトレーニングプログラム

海外見本市におけるランチや立食パーティーなど、公開ピッチセッション以外の比較的カジュアルなネットワーキングの場で、短時間で自社の作品／IPを積極的にアピールし、魅力を伝えるスキルを身につけるピッチトレーニングプログラムを実施。アニメーション、実写、番組フォーマット、キッズ向けコンテンツと、多岐にわたるジャンルのコンテンツ企業6社から8名の方にご参加いただきました。

開催日 2019年11月11日(月)、25日(月)、12月9日(月)、16日(月)の全4回

講 師 第1回:風早完次氏(株式会社Culture Connect)

第2回~4回:石井清猛氏、浅川奈美氏、ビル・ライリー氏(日本映像翻訳アカデミー株式会社)



セミナー 映画プロデューサー養成講座 基礎編 第4弾

これからの映画プロデューサーに必要な能力や役割とは何か?に焦点を当てて、映画の基本となる企画の立て方、脚本の読み方／書き方、脚本の分析と構成理解、台詞の重要性、予算の立て方などを解説。受講者は、コンテンツ産業のさまざまな業界からご参加いただきました。

開催日 2019年11月20日(水)、21日(木)(2日間)

メイン講師 安藤紘平氏(映画監督、早稲田大学名誉教授)

ゲスト講師 上田慎一郎氏(映画監督『カメラを止めるな!』等)



安藤紘平氏

上田慎一郎氏

セミナー コンテンツ業界が知っておきたい中国ビジネス攻略セミナー

変化の激しい中国コンテンツビジネス市場を俯瞰して理解できる内容として、毎回好評を博しているセミナー。最新情報を盛り込んだ“2019年バージョンアップ版”として実施し、「ビジネス編」では、中国コンテンツビジネス市場についての最新状況、市場分析ツールなどを解説。「法律編」では、中国コンテンツ関係の法規制概要および最新情勢、知的財産権の登録方法などをテーマに、わかりやすく解説していただきました。

開催日 2019年12月5日(木)「ビジネス編」、6日(金)「法律編」

講 師 分部悠介氏(弁護士、弁理士、IP FORWARDグループ総代表／CEO)



コンテンツグローバル 需要創出等促進事業費 補助金

経済産業省 補助事業

本事業は、経済産業省の平成30年度予算による「コンテンツグローバル需要創出等促進事業費補助金」(約30億円)を受け、

①コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業

②海外展開を目指すコンテンツの企画・開発として試作映像等を制作する事業

③デジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツ等の開発等を行う事業

の支援を実施するものです。

日本発のコンテンツ等の海外展開を促進し、日本ブーム創出を通じた関連産業の海外展開の拡大および訪日外国人等の促進につなげるとともに、コンテンツ産業が持続的に発展するエコシステムを構築することを目的に活動しました。

①コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業の支援は、コンテンツが主体となった、またはコンテンツを有効活用した海外展開を行う際のローカライズおよびプロモーションを行う事業

②海外展開を目指す映像コンテンツの企画・開発として試作映像(パイロットフィルム等)の制作を行う事業に係る経費および資金調達に必要なプロモーションに係る経費等

③デジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツ等の開発等を行う事業の支援は、
(1) 世界に向けて発信するデジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツの制作
(2)-1 ブロックチェーン技術を活用したコンテンツの流通システムを開発する事業
(2)-2 デジタル技術を活用したコンテンツ制作管理の効率化のためのシステムを開発する事業

に対し、それぞれ、その費用負担を軽減するための必要経費の一部を助成するものです。

交付決定結果

▶ 2019年2月から2020年1月までの補助金公募期間において



主な活動内容

▶ 補助金の対象や申請方法などを紹介する「補助金説明会」を毎週開催するほか、地方経渉産業局と共に福岡・沖縄・札幌・名古屋・大阪・仙台の6か所にて「地域説明会」を開催し、合計1,500名以上の参加がありました。

▶ 申請を検討する事業について相談を受ける「個別相談会」を毎週開催しました。また、メールや電話での相談も随時受け付けました。

▶ 交付決定した全案件について、事業検査、経理検査、補助額の確定作業、および補助金の支払いを行いました。

①コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業の支援

1.ローカライズ



©"Mishima: The Last Debate" Film Partners

映画『三島由紀夫vs東大全共闘 50年目の真実』 ギャガ株式会社

2020年3月20日に日本で公開された映画『三島由紀夫vs東大全共闘 50年目の真実』を海外へ販売する際に必要となる英語字幕を制作しました。制作した英語字幕版スクリーナーデータは、オンラインスクリーニングを活用して海外映画祭プログラマーに視聴機会を提供しました。

2.プロモーション



出版『うんこドリル』シリーズの海外展開事業

株式会社文響社

2019年10月16日～20日にドイツで開催された「フランクフルト・ブックフェア」に 出展し、『うんこ算数ドリル』のプロモーションを行いました。2020年4月現在、国内でシリーズ累計700万部を発行した『うんこドリル』シリーズの認知度を海外出版社に対して高めるとともに、コンテンツの海外展開を推進しました。

②海外展開を目指すコンテンツの企画・開発として試作映像等を制作する事業



アイトラッキング分岐型VRコンテンツ制作

株式会社WOWOW

アイトラッキング分岐型VRコンテンツ『HERA(仮題)』の製作資金調達を目的とする国内外の企業への営業活動にあたり、コンテンツデモを行うための試作品(プリビズ)の制作を行いました。

③デジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツ等の開発等を行う事業

〈1〉世界に向けて発信するデジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツの制作に関する補助金



HIBIYA CINEMA FESTIVAL ~インタラクティブシアター~

三井不動産株式会社

3DCG映画『ルパン三世 THE FIRST』とタイアップし、東京ミッドタウン日比谷の各所に映画の世界に没入したような体験ができる場を設置。専用アプリをダウンロードしたスマートフォンをかざすと、大型LEDビジョンにルパンのキャラクターがARで登場する「シネマARマッピング」等のイベントを開催しました。

〈2〉-1 ブロックチェーン技術を活用したコンテンツの流通に関するシステムの開発・実証支援

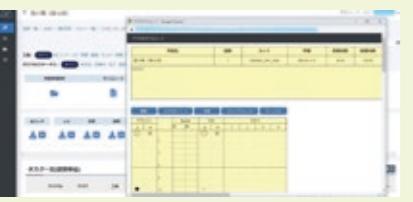


コンテンツ翻訳プラットフォーム事業

株式会社bitFlyer Blockchain

トーキンエコノミー社会の実現に向け、海賊版を排除し、コンテンツのオフィシャル翻訳版を作成する分散型の翻訳プラットフォーム「TOKYO HONYAKU QUEST」をブロックチェーン上に構築しました。本システムでは、アニメファンのコミュニティを活性化させることで、翻訳対価をコミュニティ内での称賛やサイト内トーキン活用によるアニメ関連特典取得等に設定し、ファン翻訳を実施しました。

〈2〉-2 コンテンツ製作の生産性向上に資するシステムの開発・実証支援



日本のアニメーションのデジタル制作管理システム開発

メモリーテック株式会社

アニメ制作会社の意見や要望を踏まえて、管理システムを開発し、国内のアニメ制作会社5社と実証実験を行いました。オンライン上でアニメ制作の進行管理を行うアニメーション制作管理システムでは、作画ツール「CLIP STUDIO」との連携機能が高く評価され、受発注の流れを可視化する受発注管理システムでは、受発注データがシステム内に保存され証憑整備につながることが評価されました。

コンテンツグローバル 需要創出促進・ 基盤整備事業費補助金

経済産業省 補助事業



本事業は、経済産業省の令和元年度予算による「コンテンツグローバル需要創出促進・基盤整備事業費補助金」(約31億円)を受け、

① コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業の支援

② 海外向けコンテンツ制作に資する資金調達・人材育成を行う事業の支援

③ 先進性の高いコンテンツの開発／制作・発信を行う事業の支援

④ コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発を行う事業の支援

⑤ デジタル配信を念頭においてストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業の支援

を実施するもので、日本発のコンテンツ等の海外展開を促進し、日本ブーム創出を通じた関連産業の海外展開の拡大および訪日外国人等の促進につなげるとともに、コンテンツ産業が持続的に発展するエコシステムを構築することを目的としています。

当補助金は、各事業の費用負担を軽減するため以下の①②③④⑤の必要経費の一部を助成するものです。

① コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業の支援

コンテンツが主体となった、またはコンテンツを有効活用した海外展開を行う際のローカライズおよびプロモーションを行う事業が対象となっています。(2020年2月19日より公募を開始)

② 海外向けコンテンツ制作に資する資金調達・人材育成を行う事業の支援

海外展開を目指す映像コンテンツの企画・開発として試作映像等を制作する事業が対象となっています。(2020年2月26日より公募を開始)

③ 先進性の高いコンテンツの開発／制作・発信を行う事業の支援

デジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツを開発し、世界に向けて発表・発信する事業が対象となっています。(2020年3月27日より公募を開始)

④ コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発を行う事業の支援

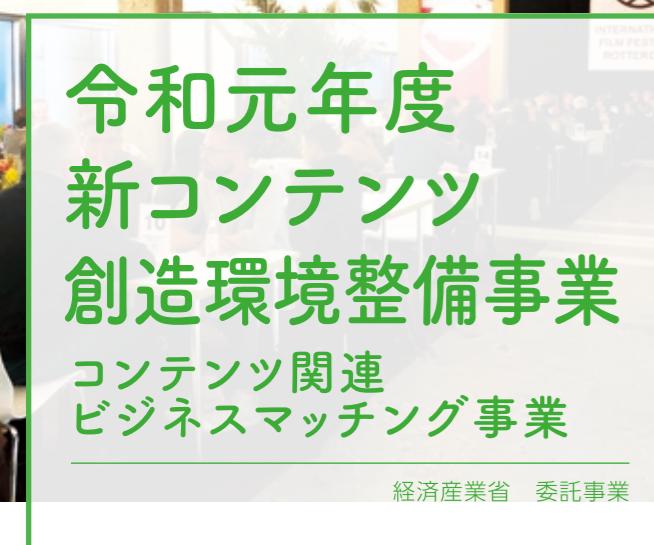
コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発を行う事業が対象となっています。(2020年3月30日より公募を開始)

⑤ デジタル配信を念頭においてストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業の支援

デジタル配信を念頭においてストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業が対象となっています。(2020年3月31日より公募を開始)

主な活動内容

- 補助金の対象や申請方法などを紹介する「補助金説明会」を開催します。また、説明動画をホームページに掲載しています。
- 申請を検討する事業について相談を受ける「補助金相談会」を開催します。また、メールや電話での相談も隨時受け付けています。
- 交付決定を受けた事業者を対象に、補助を受ける経費の処理方法について基本的なルール説明等を行う「事業開始オリエンテーション」を開催します。



日本発のアニメ、マンガ、映画、音楽等のコンテンツや先進的なコンテンツ技術の成長を継続・発展させていくため、海外展開に向けた市場を拡大するとともに、コンテンツを主軸としたオープン・イノベーションを促進し、関連産業への波及を生み出していくことを目的としたプロジェクト。日本のコンテンツホルダーへビジネスマッチングの機会を提供することにより、日本コンテンツの国際取引活性化や新市場創出を図ります。

釜山国際映画祭企画マーケット「APM」攻略セミナー

当映画祭の企画マーケット「APM(Asian Project Market)」への理解を深めていただき、より多くの日本の映画プロデューサーに、APMに応募、参加いただくことを目的としたセミナーを開催しました。

【開催日】2019年5月30日(木)
 【会 場】特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)／東京
 【登壇者】パク・セリ氏 (APM担当責任者)
 広瀬奈々子氏 (株式会社分福映画監督)
 西川朝子氏 (株式会社バンダイナムコアーツ プロデューサー)
 長谷川敏行氏 (SKIPシティ国際Dシネマ映画祭事務局 プログラミング・ディレクター)



原作ピッチング「Shoot the Book Anim'」(アヌシー国際アニメーション映画祭併設見本市「MIFA」内)

アニメーション化を希望する、選抜された小説・絵本9作品を、映像化を検討している制作プロデューサー等へ向けてピッチングを実施。ネットワーキングのカクテルパーティーとB to Bセッション(商談会)も行われ、VIPOが獲得したプレゼンテーションの日本枠には、株式会社新潮社が登壇しました。

【開催日】2019年6月12日(水)
 【会 場】L'Impérial Palace (フランス・アヌシー)



ビジネスマッチング「Industry Territory Focus」(アヌシー国際アニメーション映画祭併設見本市「MIFA」内)

日本とイタリアのアニメーション2作品を参考に、「音楽×アニメーション」をテーマとしたセミナーを実施。アニメーションにおける音楽の重要性やそのビジネスモデルの紹介と解説をしました。

【開催日】2019年6月12日(水)
 【会 場】L'Impérial Palace (フランス・アヌシー)
 【登壇者】南 雅彦氏 (株式会社ボンズ 代表取締役 プロデューサー)
 西辺 誠氏 (株式会社フライングドッグ 音楽制作部ディレクター)
 Cristiana BUZZELLI氏 (RAINBOW S.p.A., SVP Content & Licensing)
 山口 晶氏 (CITIA日本代表/SUN BRIDGE Inc.代表)



プチョン国際ファンタスティック映画祭「NAFF It Project」ピッチングセッションプログラム

当映画祭の企画マーケットである「NAFF It Project」に日本の若手監督およびプロデューサーが参加し、世界各国のプロデューサー、セールスエージェント、配給会社等の映画関係者に向けたピッチング(個別ミーティング)を実施しました。

【開催日】2019年7月1日(月)～3日(水)
 【会 場】Bucheon Art Bunker B39 (韓国・プチョン)



ロッテルダム国際映画祭(IFFR)企画マーケット「CineMart」「Rotterdam Lab」攻略セミナー

当映画祭の企画マーケット「CineMart」、またそのプログラムの一部として運営されている、若手プロデューサー育成プログラム「Rotterdam Lab」への理解を深めていただき、より多くの日本の映画プロデューサーに、応募、参加いただくことを目的にセミナーを開催しました。

【開催日】2019年7月24日(水)
 【会 場】特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)／東京
 【登壇者】Mirjam KLOOTWIJK氏 (IFFR PRO team)
 登山里紗氏 (十一合同会社 映画プロデューサー)
 長谷川敏行氏 (SKIPシティ国際Dシネマ映画祭事務局 プログラミング・ディレクター)



「ChinaJoy」ビジネスマッチング

世界最大級のゲームショウ「ChinaJoy」の主催団体である中国音像与数字出版協会遊戯出版工作委員会の協力のもと、ChinaJoyの開催期間中にビジネスマッチングを実施。中国からはTencent GamesやNetEase Gamesなどの大手を含む200社以上の企業が参加し、日本からは出版社、テレビ局、アニメ会社、ゲーム会社などの約30社が参加しました。

【開催日】2019年8月2日(金)
 【会 場】Renaissance Shanghai Pudong Hotel(淳大万麗酒店) (中国・上海)



釜山国際映画祭併設見本市「Asian Film Market 2019」企画ピッチング

「Asian Film Market 2019」にVIPOブースを出展。最新の日本映画5企画の監督およびプロデューサーが参加し、世界各国のプロデューサー、セールスエージェント、配給会社等の映画関係者に向けたピッチング(個別ミーティング)を実施しました。

【開催日】2019年10月5日(土)～8日(火)
 【会 場】BEXCO Exhibition Center2 (韓国・釜山)



「企画マーケット@北京」脚本家ビジネスマッチング

中国の映像関連会社と日本の脚本家とのビジネスマッチングを北京にて実施。中国からは夙仪文化(映画・テレビドラマの制作会社)、华策影视(映画・テレビドラマの制作会社)、猫眼娱乐(配給会社・投資会社)などを含む10社が参加し、日本からは著名な脚本家10名が参加しました。

【開催日】2019年11月21日(木)

【会場】雍和宮壹中心(中国・北京)



「Rotterdam Lab」ピッチング

VIPOは「ロッテルダム国際映画祭」の企画マーケット「CineMart」とパートナーシップを締結しており、「CineMart」が運営する「Rotterdam Lab」(プロデューサー養成ラボ)に日本の若手映画プロデューサーを派遣しています。今年度は昨年に続き、3名のプロデューサーを派遣しました。ラボには世界各国から69名のプロデューサーが参加し、各種講義やセッションのほか、「CineMart」に参加した映画関係者へのピッチング(個別ミーティング)も実施しました。

【開催日】2020年1月25日(土)~29日(水)

【会場】DE DOELEN (オランダ・ロッテルダム)



「Kidscreen Summit 2020」ジャパンベース出展

北米最大のキッズエンターテインメント産業見本市である「Kidscreen Summit 2020」において、今年度で2度目となるジャパンベースを出展。日本の子ども/ティーン向けコンテンツ企業9社が海外マーケットへコンテンツを開拓するための商談を行いました。

【開催日】2020年2月10日(月)~13日(木)

【会場】InterContinental Miami (アメリカ・マイアミ)



アジア・コンテンツ・ビジネス・サミット(ACBS)

アジアにおけるコンテンツ産業の官民関係者を一堂に集め、コンテンツ産業の振興を目的に開催。政策、人材育成、ビジネスモデル、アジア協業の4つをテーマにした各国有識者によるプレゼンテーション、および今後に向けた提案やディスカッションが行われました。映画祭も併催され、日本からは『アジア三面鏡 2016:リフレクションズ』(©2016 The Japan Foundation)を上映しました。

【主要メンバー国/地域】

日本、中国、香港、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ

【開催日】2019年9月19日(木)~21日(土)

【会場】Sultan Hotel(インドネシア・ジャカルタ)



第12回日中韓文化コンテンツ産業フォーラム

※韓国最大のゲームショウ「G-STAR2019」と併催

日本、中国、韓国におけるコンテンツ産業のビジネスチャンス創出を目的に開催。企業間の連携を強化する産業協力体として、日本からはVIPOが選ばれました。ビジネスマッチングには各国から12社が参加。専門家フォーラムでは各国の有識者が講演し、ディスカッションが行われました。

【開催日】2019年11月15日(金)

【会場】ザ ウェスティン チョースン ホテル 釜山(韓国・釜山広域市)



コ・フェスタ(JAPAN国際コンテンツフェスティバル2019)

「コ・フェスタ」は、国内外の日本コンテンツに関わる多種多様なイベントを連携させ、海外へ効果的に情報発信するためのプロジェクトです。日本コンテンツに関わるイベントのネットワーク構築を行い、コンテンツを主軸としたオープン・イノベーションのあり方を検討し、国内外に向けて情報発信することで、日本コンテンツの市場拡大につなげることを目的としています。



コ・フェスティイベント2019一覧

日本コンテンツに関わる多種多様な35イベント(内3イベントが開催中止)が参加、総来場者数は214万人を超えました。

コアイベント

- 東京ゲームショウ2019
- Japan Content Showcase 2019
 - ・ TIFFCOM2019 -Marketplace for Film & TV in Asia-
 - ・ 東京国際アニメ祭 2019 (TIAF)
 - ・ 第16回東京国際ミュージック・マーケット (16th TIMM)
- 第32回東京国際映画祭 (TIFF)
- AnimeJapan 2020 ※開催中止

オフィシャルイベント

- KYOTO CMEX 2019
- 第22回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展
- Rakuten Fashion Week TOKYO 2020 S/S
- CEATEC 2019
- 国際ドラマフェスティバル in Tokyo 2019
(東京ドラマアウード2019)
- 第46回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール
- Tokyo Docs 2019
- Inter BEE 2019
- デジタルコンテンツEXPO 2019
- 2019国際ロボット展

パートナーイベント

- 第35回ATP賞テレビグランプリ
- SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2019
- 第44回湯布院映画祭
- C3AFA TOKYO 2019
- 第41回 ぴあフィルムフェスティバル(PFF)
- 京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)2019
- きものサローネin日本橋2019
- 吉祥寺アニメワンドーランド2019
- NoMaps2019
- 第11回京都ヒストリカ国際映画祭
- MPTE AWARDS 2019 第72回 表彰式
- 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード2019」

- 第13回アジア国際子ども映画祭 IN 南あわじ市
- ヨコハマ・フットボール映画祭2020
- 東京アニメワードフェスティバル2020 ※開催中止

海外パートナーイベント

- HYPER JAPAN Festival 2019
- 2019年Comic Exhibition 台湾漫画博覽会
- パンコク日本博 2019
- Madman Anime Festival - Melbourne 2019
- C3 AFA SINGAPORE 2019
- C3 AFA HONG KONG 2020 ※開催中止

メディア芸術海外 展開事業

文化庁 委託事業

1 企画展

①「アヌシー国際アニメーション映画祭2019」(フランス・アヌシー、毎年6月開催)

イベント概要

当映画祭は、1960年にカンヌ国際映画祭のアニメーション部門から独立して始まった映画祭です。2019年は20年ぶりに日本がトリビュートされ、企画テーマ「NEW MOTION -THE NEXT OF JAPANESE ANIMATION-」のもと、上映や展示を始めとするさまざまな企画を実施しました。また本企画のフラッグや看板などでアヌシーが日本カラーで美しく彩られました。

- 会期：2019年6月10日(月)～15日(土)
(併設見本市「MIFA」:6月11日[火]～14日[金])
- 会場：「フェスティバル」:Bonlieu、Pathé／「MIFA」:Imperial Hotel
- 主催：CITIA(アヌシー都市圏共同体、オート・サヴォア地方議会およびローヌ・アルプ地域圏が出資する文化協力事業公社)
- チケット販売数：120,000枚
- 上映本数：432本
- MIFA出展者数：914
- 参加国数：92カ国 ● ジャーナリスト数：414名

実施内容

- テーマ：「NEW MOTION -THE NEXT OF JAPANESE ANIMATION-」
- 企画ディレクター：岡本美津子氏(東京藝術大学副学長)
- 展示紹介作家：33名・ユニット(湯浅政明、新海 誠、AR三兄弟、和田 淳、近藤聰乃、牧野 僕、橋本 麦、柴田大平、ユーフラテス[石川将也] + 阿部 舜、内海紘子、小林 寛、大西景太、吉田健一、押山清高、佐藤広大、平岡政展、新井伸浩、ひらのりょう、折笠 良、薄羽涼彌、坂本サク、Sarina NIHEI、冠木佐和子、Tao TAJIMA、中武哲也、矢萩利幸、久野遥子、水尻自子、板津匡覧、金子雄司、KAORU、小光、谷 耀介) ※敬称略
- フェスティバル上映：「NEW MOTION -Short Films-」「NEW MOTION次世代のリーダーたち」「和田淳特集」「あにめたまご」
- アヌシー城野外上映：『ルパン三世 カリオストロの城』
- アヌシー城コンサート「ヴィヴァルディ『四季』ライブアニメーションコンサート」
- MIFA CAMPUS(登壇者:押山清高氏) ● マスタークラス(登壇者:大西景太氏、押山清高氏、折笠 良氏、Sarina NIHEI氏)
- アーティストトーク ● ジャパンレセプション

②「アルスエレクトロニカ・フェスティバル2019」(オーストリア・リンツ、毎年9月開催)

イベント概要

当イベントは、1979年から始まった世界最先端の「Art, Technology and Society」を切り取るメディアアートのフェスティバルです。世界中から専門家が集い、展覧会、パフォーマンス・イベント、国際会議等を通して議論を深め、新しいつながりを生み出しています。

- 会期：2019年9月5日(木)～9月9日(月)
- 会場：POST CITY
- 主催：アルスエレクトロニカ ● 来場者数:110,000人
- 企画数：548件 ● 展示作品数：501点 ● 参加国数：45カ国
- 参加アーティスト：1,449名 ● 取材メディア：38カ国461媒体

日本のメディア芸術を、世界へ

優れたメディア芸術を世界へ発信するため、世界のメディア芸術関連フェスティバル／施設において、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心に企画展示、上映、プレゼンテーション等を行いました。作家や専門家を現地へ派遣し、世界へネットワークを広げました。

実施内容

- テーマ：「日常でのアルゴリズムと身体が生み出す表現」
- 企画ディレクター：関口敦仁氏(愛知県立芸術大学美術学部教授)
- 展示：『Lasermice』菅野 創氏、『Japanese Media Art Timeline Infographics Project』、『Campus展』内(愛知県立芸術大学との協力)『だいちの星座 -たかはぎ座』鈴木浩之氏／大木真人氏、『Portraits』大崎のぶゆき氏、『ボディプロジェクト指向』小鷹研理氏
- パフォーマンス：『"Play Back" Curing tapes』正直(小林 棟氏、時里 充氏)
- シンポジウム 登壇者：四方幸子氏、関口敦仁氏、畠中 実氏、草原真知子氏、河口洋一郎氏
モレーター：クリスタ・ソムラー氏



③「第25回マンガ・バルセロナ」(スペイン・バルセロナ、毎年10月末～11月初旬開催)

イベント概要

マンガを通して日本の文化を紹介するスペイン最大のマンガフェスティバル「マンガ・バルセロナ」は、ヨーロッパでは「ジャパンエキスポ」(仏)に次ぐ規模のイベントです。フェスティバルでは、マンガのほか、着付け、囲碁、将棋、書道、華道、チャンバラ、B級グルメ屋台、クッキングスクール、アニソンライブ、日本語教室まであらゆる日本文化が詰まっています。今年は第22回メディア芸術祭審査委員会推薦作品に選ばれた『ブルーピリオド』の複製原画を展示し、フェスティバル初日には『ブルーピリオド』のスペイン語版第1巻が発売開始され、盛り上がりを見せました。



- 会期：2019年10月31日(木)～11月3日(日)
- 会場：Fira Barcelona Montjuïc
- 主催：FICOMIC(スペイン出版流通業界)
- 来場者数：150,000人
- 出展者数：223

実施内容

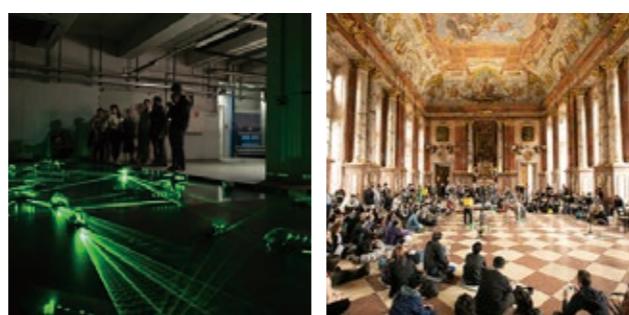
- 参加作家：山口つばさ氏
- 展示：『ブルーピリオド』(山口つばさ／講談社)高精細複製画29点
- Q&Aセッション
- マスタークラス
- サイン会



2 上映参加

世界12会場で4つのプログラムを上映しました。

- 「第22回文化庁メディア芸術祭受賞作品上映プログラム」
 - 「NEW MOTION-Short Films-」
 - 「和田淳特集」
 - 「村田朋泰 ストップモーションアニメーション特集」
- アヌシー国際アニメーション映画祭2019 (フランス・アヌシー) 2019年6月10日(月)～6月15日(土)
 - J-FEST 夏まつり 2019 (ロシア・モスクワ) 2019年7月20日(土)、21日(日)
 - ウォーターピーシーズ (ラトビア・リガ) 2019年8月8日(木)、9日(金)、23日(金)
 - アルス エレクトロニカ フェスティバル2019 (オーストリア・リンツ) 2019年9月5日(木)～9月9日(月)
 - Romics (イタリア・ローマ) 2019年10月3日(木)～5日(土)
 - Luxelakes・A4 Art Museum (中国・四川省成都) 2019年10月6日(日)～7日(月)
 - aniventureコミコン (ブルガリア・ソフィア) 2019年10月14日(月)～10月15日(火)
 - 第25回マンガ・バルセロナ (スペイン・バルセロナ) 2019年10月31日(木)～11月3日(日)
 - ルッカ コミックス&ゲームズ 2019 (イタリア・ルッカ) 2019年10月30日(水)～11月3日(日)
 - Microwave Festival 2019 (中国・香港) 2019年11月1日(金)～11月17日(日)
 - シーグラフ アジア (オーストリア・ブリスベン) 2019年11月17日(日)～11月20日(水)
 - AV EXPERIMENTAL (ドバイ・アルバージャ) 2020年2月11日(火)





国内外の1万人以上の日本文化が好きな外国人(ジャパンアンバサダー)による、主にコンテンツに関連する海外調査や外国人を対象としたアンケート等のサービスを行っています。

- 活用例**
- 調査：外国人(海外、国内)を対象とした調査
 - 体験／発信：外国人インフルエンサーを活用したSNSプロモーション、FAMトリップ、モニターツアー

事例(2019年度の受注案件より一部抜粋)〈敬称略〉

事例1 調査	日本のテレビ番組と視聴に関する調査 2020 一般社団法人日本民間放送連盟	事例2 調査	手書き文字に関する意識調査 株式会社クオラス
	<p>アジア5カ国／地域におけるテレビ番組の視聴状況と、日本の番組や出演者への関心についての調査を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査手法：アンケート(インターネット) ・調査対象：インドネシア、タイ、台湾、ベトナム、ミャンマー ・サンプル数：各國 200～300サンプル(合計 1,200サンプル) ・言語：インドネシア語、タイ語、中国語(繁体字)、ベトナム語、ミャンマー語 ・実施年：2020年 		<p>米国と中国を対象として、手書き文字についてのイメージやエピソード、志向性等の調査をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査手法：アンケート(インターネット) ・調査対象：米国、中国 ・サンプル数：各國 70サンプル(合計 140サンプル) ・言語：英語、中国語(簡体字) ・実施年：2019年
事例3 体験+発信	「ものづくり・匠の技の祭典2019」の取材／発信 共同ピアール株式会社	事例4 体験+発信	「J-Manga ~Direct Lesson & Fan Meeting~ 2020」体験／発信 株式会社Ree Ben Corporation
	<p>2019年7月に開催された「ものづくり・匠の技の祭典2019」(東京都主催)のプロモーションのため、4名のインフルエンサーを起用し、イベント前にSNS等で告知しました。イベント初日には会場で取材を行い、SNSで情報発信をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加アンバサダー：4カ国／地域から4名(韓国、シンガポール、台湾、中国) ・実施時期：2019年7月 		<p>マンガに興味のある外国人6名が、インバウンド向け体験イベント「J-Manga～Direct Lesson & Fan Meeting～2020」に参加。感想をフィードバックするとともにSNSで情報発信をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加アンバサダー：4カ国／地域から6名(英国、ドイツ、フランス、メキシコ) ・投稿メディア：Instagram、Twitter ・実施時期：2020年1月
事例5 体験+発信	ドイツメディアによる関西地区の取材／発信 株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル	事例6 体験+発信	会津若松の取材／発信 株式会社共同通信デジタル
	<p>ドイツ人プロガーが、世界遺産を中心に関西地区を取り材し、ブログとSNSでの情報発信をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加アンバサダー：ドイツから1名 ・投稿メディア：ブログ、Facebook、Instagram、Twitter ・実施時期：2020年1月 		<p>外国人インフルエンサー2名とスペイン語圏向けの情報サイトが会津若松を取材し、SNSやウェブサイトでの情報発信をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加アンバサダー：3カ国／地域から3名(スペイン、フランス、メキシコ) ・投稿メディア：Facebook、Instagram、ウェブサイト ・実施時期：2019年11月、2020年1～2月
事例7 体験+発信	岐阜県東濃地方の取材／発信 株式会社石田大成社	事例8 体験+発信	羽田国際空港における「日本の酒キャンペーン」取材／発信 株式会社ジャパンエフエムネットワーク
	<p>米国人インフルエンサー2名が岐阜県東濃地方を訪問。陶芸体験や観光スポットを取材し、SNSで投稿を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加アンバサダー：米国から2名 ・投稿メディア：Instagram ・実施時期：2020年3月 		<p>外国人インフルエンサー6名が、羽田空港で行われた「ニッポンを飲もう!『日本の酒キャンペーン』」の取材を行い、SNS投稿による情報発信をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加アンバサダー：4カ国から6名(英国、ドイツ、フランス、米国) ・投稿メディア：Instagram、Facebook ・実施時期：2019年10月～2020年1月

地域経済の振興等に資する 外国映像作品口ケ誘致に関する実証調査

新規事業

内閣府 再委託事業

本調査事業では、外国映像作品の誘致にインセンティブを設定することで口ケ誘致の実例を創出し、

- ①インセンティブが海外からの大型映像作品の誘致に効果があるか、
- ②地域経済の振興等にどの程度の費用対効果があるか、
- ③今後、日本が継続的に海外作品の口ケ誘致を進める上でどのような課題があるか、

定量的、定性的な分析を行うことを目的としました。本調査事業の実施にあたり、調査実施委員会が組成され、VIPOはインセンティブ運営・調査事務局として事業の実施・運営に携わりました。

近年のフィルムコミッションの増加と活発化により、日本での海外映像作品の支援数は大幅に増加しています。そして海外映像作品の口ケ支援数の増加は、①雇用創出／産業育成、②人材育成、③インバウンド／観光誘客といった効果が期待されます。海外各国はそのような社会的効果が期待できる海外映像作品の口ケ誘致を、さまざまな支援とともに積極的に進めています。

今回、内閣府知的財産戦略推進事務局によるインセンティブによって、予算／配給ともに世界規模の大きな2作品を日本に口ケ誘致することが可能となり、それらの効果測定等の調査を行うことができました。海外の大型映画2作品を対象とした本調査事業が、今後の外国映像作品の口ケ誘致の振興や発展、そして国内映像産業、および各地方や地域の発展、さらに海外への日本の魅力の発信によるインバウンド観光の増加等に寄与することが、本調査事業の大きな目的です。

調査対象作品について

本調査事業の助成対象作品には、中国映画の人気シリーズ最新作『唐人街探案3(僕はチャイナタウンの名探偵3)』と、ハリウッド映画の人気シリーズ最新作『G.I.ジョー:漆黒のスネークアイズ』が選定され、この2作品について、2020年1月10日に、本調査事業の助成対象作品であることが公表されました。

【調査対象2作品：作品概要】

1)『唐人街探案3(僕はチャイナタウンの名探偵3)』

- ・製作国：中国
- ・日本国内でのロケ地：東京タワー、浜離宮、名古屋国際会議場他(東京都、愛知県他11都道府県)
- ・撮影時期：2019年7月～11月における64日間

2)『G.I.ジョー:漆黒のスネークアイズ』

- ・製作国：米国
- ・日本国内でのロケ地：姫路城、圓教寺、若江立坑、ワープステーション江戸等(東京都、兵庫県、大阪府、茨城県の4都県)
- ・撮影時期：2020年1月中旬～2月下旬における55日間

フランスにおける映画振興に対する助成システム等に関する実態調査

新規事業

独立行政法人日本芸術文化振興会 委託事業

2020年2月、日本芸術文化振興会よりフランスにおける文化政策及び文化関係予算の概要、文化関係予算及び税制における映画振興の位置づけ、映画振興を担当する組織の概要及び映画振興への助成システム等の具体的な内容に関する実態調査を受託いたしました。本件調査は、公益財団法人川喜多記念映画文化財団と共同で実施するものです。

全国ロケーションデータベースの利用促進のための調査研究

新規事業

文化庁 委託事業

<主要事業内容>

JL-DB登録データ充実のための調査等に関する業務

「全国ロケーションデータベース(JL-DB)」のコンテンツ(登録データ)について、地域FCが持つ国内ロケ地や関連情報のさらなる充実化を図るとともに、他データベースとの連携促進、国内での海外作品製作の支援実績や問題点等の調査を実施。JL-DBが、国内のロケ撮影に関する一元的窓口サイトとして、より活用しやすい魅力的な唯一のデータベースとなることを目標としました。

JL-DBを通した海外に向けた効果的な情報発信に関する調査

世界からの日本への関心がますます高まっている好状況を活かし、JL-DBがロケ地を探す海外映像制作者にとってより便利なツールとなるよう、海外からのアクセスの最適化、アクセス向上の調査と調査結果の反映作業を実施。また、国内のロケ受入れ体制強化のため、海外映像制作者を招いたシンポジウムの開催や、海外イベントでのJL-DBのPR他、利用促進につなげる調査等を幅広く行いました。

各フィルムコミッショナ(FC)への支援強化

全国のロケ地情報を持ち、JL-DBのコンテンツ充実化に大きな役割を担う地域FCの業務は、実際の国内外のロケ撮影の対応等により極めて多忙です。本年度からは、広範囲においてFC活動やロケ撮影支援をフォローするスタッフを、エリアマネージャーという位置づけで試験的に配置し、地域FCの支援強化を行いました。

本調査を踏まえたJL-DB改修に向けた提案等

日本国内での映像撮影／製作(邦画・洋画等)のための環境整備は、日本の映像産業全体を将来に向けさらに発展させるための必須作業です。JL-DBがその発展に一層貢献できるよう、登録コンテンツの充実化とともにデータベース機能を高め、システム面でのセキュリティ強化も備えた、新たなJL-DBシステムの開発／運営を提示／提案しました。

<関連イベント情報>

海外映像作品のプロデューサー等によるシンポジウム

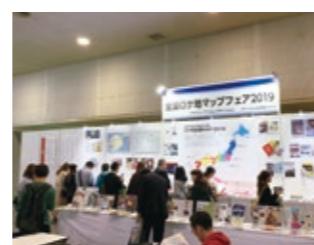
- テーマ:「海外映像制作者がフィルムコミッショナに求めるもの」
- 開催日時:2019年10月9日(水)
- 会場:東京国際フォーラム ホールD5



全国ロケ地マップフェア2019開催(「ツーリズムEXPOジャパン2019」内にて実施)

- 開催日時:2019年10月24日(木)～27日(日)
- 会場:大阪市 インテックス大阪

JL-DBのメインコンテンツの一つ“ロケ地情報”にフォーカスし、業界関係者だけでなく、一般層へも向けたイベントを開催しました。



国際マッチングサイト 「Japan Creator Bank」

新規事業

経済産業省 補助事業



<https://japancreatorbank.com/>

Japan Creator Bankは、日本のエンターテインメント業界で活躍している日本のトップクリエイターを検索できるウェブサイトです。本サイトには、海外での仕事に強い興味と意欲を持っている日本のクリエイターが登録されています。

Japan Creator Bankには、検索機能だけではなく問い合わせ機能も実装されていますので、本サイト上で仕事の相談／依頼等を行うことが可能です。日本のクリエイターと一緒に仕事をすることをお考えの方々にとっては大変便利な検索サイトです。

Japan Creator Bankでは、以下の日本のクリエイターを日本語／英語／中国語で検索することができます。

脚本家	監督	俳優
映画やドラマ等で活躍し、実績のある日本の脚本家を紹介しています。	映画やドラマ等で活躍し、実績のある日本の監督を紹介しています。	映画やドラマ等で活躍している日本の俳優を紹介しています。
問い合わせ可能な内容	問い合わせ可能な内容	問い合わせ可能な内容
<ul style="list-style-type: none"> ・映画やドラマ等の脚本制作 (海外制作、国際共同製作を含む) ・イベント等への出演・登壇等 	<ul style="list-style-type: none"> ・映画やドラマ等の映像制作 (海外制作、国際共同製作を含む) ・イベント等への出演・登壇等 	<ul style="list-style-type: none"> ・映画やドラマ・TV番組等への出演、オーディションへの参加等 ・イベント等への出演・登壇等
声優	作曲家	映画プロデューサー
アニメやゲーム等で活躍している日本の声優を紹介しています。	アニソン業界を中心に活躍している日本の作曲家を紹介しています。	映画で活躍し、実績のある日本のプロデューサーを紹介しています。
問い合わせ可能な内容	問い合わせ可能な内容	問い合わせ可能な内容
<ul style="list-style-type: none"> ・アニメやゲームへの声の出演、海外言語の吹き替え等 ・イベント等への出演・登壇等 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外コンテンツへの楽曲提供 ・イベント等への出演・登壇等 	<ul style="list-style-type: none"> ・映画等のプロデュース (海外制作、国際共同製作を含む) ・イベント等への出演・登壇等

VIPO Integrated Support System(VISSL)

経済産業省 補助事業

VIPO Integrated Support System(略称:VISS)は、日本のコンテンツ事業者の海外展開をサポートするためのリスト類です。現在のVISSは、以下の7つのリストで構成されています。

- ①バイヤーズリスト、②海外イベントリスト、③ローカライズ事業者リスト、④商品化エージェントリスト、⑤発信事業者リスト、
⑥国別共同製作支援制度情報、⑦国別表現規制情報

海外展開に課題を抱えている会社をサポートするためにVISSの情報を活用しています。

Japan Content Catalog (JACC®)

経済産業省 拠助事業

Japan Content Catalog(略称:JACC®)は①映画、②テレビ番組、③アニメ&キャラクター、④音楽、⑤ゲーム、⑥脚本、⑦ロケ地情報、⑧クリエイターなどの各コンテンツジャンルで構築したデータベースを一括検索システム「JACC®サーチ」でつなげ、コンテンツの基本情報や問い合わせ窓口情報を横断的に検索することができるデータベースプロジェクトです。

JACC®は英語にも対応しており、日本のコンテンツホルダーと国内外のバイヤーとのマッチングを促進しています。「JACC®サーチ」の対象となるデータベースは以下の8つで、2020年4月1日現在、英語での収載コンテンツ総数は98,000件以上です。一部は中国語(簡体字)にも対応しており、その収載コンテンツ総数は5,000件以上です。

一括検索機能

JACC®サーチ

運営：特定非営利活動法人映像産業振興機構、
株式会社角川アスキー総合研究所
<http://japancontentcatalog.jp>



①映画

JFDB Japanese Film Database

運営：公益財団法人ユニジャパン
<https://fdb.jp>

③アニメ&キャラクター



運営：一般社団法人日本動画協会
<http://animecharadb.jp>

⑤ゲーム



運営：株式会社IMAGICA Lab.
<https://jcc-game.foyer-online.com>

⑦ロケ地情報

JL-DB JAPAN LOCATION DATABASE

運営：文化庁
<https://www.jldb.bunka.go.jp>

JAPACON

自主事業

下記のサイト等を中心に情報発信を行いました。

JAPACON SNSページ(<https://www.facebook.com/japancontent/>)

JAPACONは下記に掲げる3項目を目的に活動しています。

1. 海外へのコンテンツ流通の促進
2. クールジャパン情報の海外発信
3. 全国の良質なコンテンツの海外への発信

アーカイブ

アーカイブ中核拠点形成 モデル事業

(撮影所等における映画関連非フィルム資料)

文化庁 委託事業

歴史的、文化的価値のある日本の貴重な文化関係資料(撮影所等における映画関連の非フィルム資料*)が散逸・消失することのないようアーカイブの構築に向けた資料の保存および活用を図るため、当該分野のネットワーク化を推進し、分野全体のアーカイブ運営や共同利用の促進等を目的としています。

*撮影所等における非フィルム資料：脚本、ポスター、スチール等の非フィルム系映画関係資料

ネットワークの構築

▶ 2019年度は、調査範囲を関西地区および京都で制作された映画の非フィルム資料に広げるとともに、2018年度に開催したセミナー参加者をはじめとした、映画関連非フィルム資料に係る関係者のネットワーク構築を図りました。中核団体および検討委員と情報交換を行うほか、アーカイブの手法やデータベースの活用について検討しました。

現地調査研究

▶ 関西地区における非フィルム資料の所在に関する情報についてヒアリング調査を行いました。16,000タイトルを収蔵する関西地区最大の映画専門の資料館(神戸市所在)を対象に、神戸および大阪における所在情報の収集／調査、また、東映太秦映画村にて発掘された未整理資料(タイトル不明作品、未完成作品等)の集中調査を実施し、資料の検証を行いました。

保存修復調査

▶ 松竹大谷図書館に所蔵されている、映画スクラップブックのデジタル化実証研究を実施しました。1952年(昭和27年)までに京都で制作された松竹映画スクラップブック80冊のうち、31冊をデジタル化し、その成果／課題等を検証しました。

データベース構築

▶ 映画保存資料館50館を対象にデータベースのアンケート調査を実施しました。また、昨年度構築した東映太秦映画村の初期データを基に、新たなデータベースシステムを作成しました。これらは情報整理／管理／利活用等の全国に対するモデルとなり、また全国所蔵館との連携が可能となるためのノンフィルム資料データベースになるものとして新たに構築しました。

市場開拓

東京都コンテンツ活用 促進事業

東京都 受託事業

VIPOは、東京都令和元年度予算「コンテンツ活用促進事業」の実施運営等を受託し、コンテンツ産業の発展と他産業との交流を促し、コンテンツ活用の裾野を広げていくことを目的に、「コンテンツ活用促進セミナー＆コンテンツ企業×異業種企業マッチング交流会」を開催しました。



開催日 2019年12月12日(木)

参加者 115名(内、コンテンツ企業56社、異業種22社)

- コンテンツ企業:映像、アニメ、ゲーム、アプリ、音楽、キャラクター、WEB、ICT、VR等
- 異業種企業:製造、医療・福祉、教育、商店街、小売等分野

「マッチング交流会」の開催

各企業から参加申し込み時にご提出いただいたエントリーシートを基に、事前にマッチングスケジュールを組み、商談スペースを用意。約130件のコンテンツ企業×異業種企業のマッチングを実施しました。

「コンテンツ活用促進セミナー」の開催

コンテンツ企業と異業種企業のコラボレーションに必要なノウハウや成功事例に関するセミナーを、マッチング交流会と並行して実施しました。

「デモ・交流会」の開催

各企業の商材をデモンストレーションできる会場を設け、自由な異業種交流の場として有効に使っていただきました。この場でのマッチングも複数成立しました。

令和2年度コンテンツ海外展開促進事業（コンテンツ海外展開のための官民連携体制構築事業）

日中韓文化コンテンツ産業フォーラム

経済産業省

日本／中国／韓国におけるコンテンツ産業政策に関する情報交換およびビジネスチャンスの創出を目的とする国際会議。

令和2年度日本映画海外発信事業（日本映画海外展開強化事業）

文化庁

映画文化先進国である欧米の都市において、日本映画祭と合わせて人材育成研修、シンポジウム等を実施し、日本映画および日本映画人の世界進出を促進する事業。

コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金（J-LODlive）

経済産業省

新型コロナウイルス感染症の影響により公演を延期・中止した主催事業者に対して、今後実施する無観客公演をはじめとするライブ公演の開催およびその収録映像を活用した動画の制作・海外配信の費用の一部を補助。

Netflix 映画・テレビドラマ制作従事者支援基金

Netflix株式会社

新型コロナウイルス感染症の影響により、Netflixが2020年5月22日に設立した日本国内の映画やテレビ番組の制作従事者の生活を支援する「Netflix 映画・テレビドラマ制作従事者支援基金」の事務局運営業務を受託。

広報活動

VIPOインタビュー

2016年からスタートした、VIPOインタビューシリーズ。コンテンツ業界の旬なトピックやイベント、VIPO主催のアカデミーやプロジェクト等をテーマに、さまざまな方にインタビューを行い、VIPO公式サイトに毎月約1本のペースで公開しています。

(掲載先 <https://www.vipo.or.jp/interview/list/>)

2019年4月 「日本コンテンツ専門チャンネルのCEOが明かす アメリカにおける日本コンテンツの可能性」

Amazonプライムでアメリカ市場向けの日本コンテンツ専門有料チャンネル「J-Edge(ジェイ・エッジ)」を運営するGlocal Media社のCEO デニス ヤン氏とChannel Manager 中村 淳(あつみ)氏にインタビュー。

2019年5月 「日本人新進プロデューサー3名のロッテルダム奮闘記～国際的に活躍できる映画プロデューサーは何が違うのか～」

「ロッテルダム国際映画祭」の企画マーケット「CineMart(シネマート)」が運営する「Rotterdam Lab(ロッテルダムラボ)」に、派遣された実績のある新進プロデューサー3名にインタビュー。

2019年6月 「『アニメーション海外展開サポート アニメピッチトレーニングプログラム』の参加者に聞く。今必要なことと今後の課題」

日本アニメを海外展開するために必要なピッチングのスキルを身につける「ピッチトレーニング」と、実際に英語で、ピッチングする「ピッチセッション」に参加いただいたアニメプロデューサー5名のうち2名にインタビュー。

2019年8月 「なぜ浅草の老舗昆布屋が人気IPとコラボしたのか?インスタ映えする昆布の誕生秘話」

東京都主催のコンテンツ企業とのマッチングイベント(VIPO運営)にご参加いただき、「昆布」と「キャラクターIP」とのコラボを実現させた、有限会社川人 代表取締役 川人 満氏にインタビュー。

2019年8月 「2019年、アメリカの音楽ビジネスのリアル—私たちがニューヨークでの1か月間で学んだこと」

トレイニープログラムに参加した、株式会社ソニー・ミュージックマーケティング 岡村貴文氏と、株式会社WOWOW 高木明菜氏にインタビュー。

2019年9月

「**<デジタルコンテンツの配信最前線> 映像と音楽。デジタルコンテンツの配信プラットフォーマーのTOPが、今後の展望を語る**」
(「コンテンツ東京2019」にて「デジタルコンテンツの配信最前線」をテーマとした特別講演より再構成) SHOWROOM 株式会社 代表取締役社長 前田裕二氏とアマゾンジャパン合同会社 デジタル音楽事業本部 事業本部長 レネ・ファスコ氏がゲストスピーカーとして登壇。

2019年10月

「**「日本のアニメの未来～“デジタル化”と“国際化”～**—日本が名誉国となったアヌシー国際アニメーション映画祭2019を終えて」
岡本美津子氏(プロデューサー／東京藝術大学副学長、同大学院映像研究科教授／Annecy 2019 総合ディレクター)にインタビュー。

2019年10月

「**「ロッテルダム国際映画祭」の企画マーケット『CineMart』攻略法—選ばれた企画の90%が映画化される理由**」
IFFR PRO International Relations Mirjam KLOOTWIJK氏にインタビュー。

2019年11月

「**「バンダイナムコエンターテインメントの社長が語る、これまでの挑戦と失敗。成功体験から学ぶ、挑戦する人が生き残れる会社へ。」**
(VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」講演より再構成) 株式会社バンダイナムコエンターテインメント 代表取締役社長 宮河恭夫氏が登壇。

2019年11月

「**内閣府に聞く—価値デザイン社会におけるクールジャパン戦略が目指す姿～世界が共感する日本のコンテンツブランドとは?～**」
内閣府 知的財産戦略推進事務局長 三又裕生氏にインタビュー。

2019年12月

「**大きなポテンシャルのある東南アジアにいかに挑むべきか?—AFA*創設者ショーン・チン氏が語る、日本企業の強みと弱み、他国の戦略から学ぶこと**」*SOZO社が2008年から開催 SOZO Pte.Ltd.創業者／代表取締役 ショーン・チン氏にインタビュー。

2019年12月

「**「デジタルハリウッド大学」の学長が語るデジタルコミュニケーションの重要性と日本の課題とは**」
デジタルハリウッド大学 学長 杉山知之氏にインタビュー。

2020年1月

「**なぜテレビ東京は独自路線で成功しているのか?!～業績回復を牽引した高橋会長が語るビジネスモデル～**」
(VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」講演より再構成) 株式会社テレビ東京ホールディングス 代表取締役会長 高橋雄一氏が登壇。

2020年2月

「**「プロデューサー養成講座」の講師・安藤紘平先生に聞く—これからの映画プロデューサーに求められること**」
映画監督／早稲田大学名誉教授 安藤紘平氏にインタビュー。

2020年3月

「**テクノロジーが加速するライブエンターテインメント最前線～J-LOD採択事業にみる新潮流～パネルディスカッション～コンテンツとテクノロジーへのチャレンジ、未来への展望～**」
(2019年11月に開催された「Inter BEE 2019」INTER BEE IGNITION企画セッションの講演内容を再構成) J-LOD事業「世界に向けて発信するデジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツの制作補助金」の採択事業者から3社(株式会社NTTドコモ、ソニーPCL株式会社、株式会社ライゾマティクス)が講演。

2020年3月

「**映画ファンのための映画アーカイブ最新事情—知られざるノンフィルム資料の価値**」
国立映画アーカイブ 主任研究員 岡田秀則氏にインタビュー。



2019年10月 岡本美津子氏



2019年12月 杉山知之氏



2020年2月 安藤紘平氏